

業務用

対話型デジタルサイネージ

エニーシステム「MultiKIS」

多目的双方向型デジタルサイネージ(電子看板)「MultiKIS(マルチキス)」。

タッチ機能の利用により、単なる情報提供ではなく、双方向の情報共有を実現する対話型デジタルサイネージ。画面操作、情報入力を可能とし、端末が設置されているホテルや複合施設などの様々なニーズ、シーンに応える。街頭ではアンケート調査、ルート案内など双方向のサービスを実現できる。本体は55型。縦型表示、横型表示が選べる。管理ソフトが付き、税別120万円～。

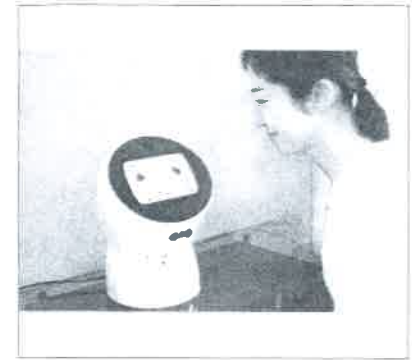
コンテンツ配信、管理ソフトはクラウドを利用し、Wi-Fi環境で動作、リアルタイム配信が可能。配信コンテンツの表示はホームページ、ポスター(PDF)、動画、YouTubeなど思いのまま。緊急時の災害情報配信や多言語にも対応でき、用途やシーンに合わせたカスタマイズにも応じる。

発売元はエニーシステム(埼玉県川口市、048・430・7221)。

＜開発者から＞

これまでにない新発想の多目的双方向デジタルサイネージ。表示開始時は、スクリーンモードでセットしたコンテンツが自動で切り替わり、コンテンツのスクロール、BGMを流すことも可能。スクリーンモード中に画面をタッチするとタッチモードに切り替わり、双方向コンテンツや情報を選択利用できる。

注目の一台



受付で電話つなぐロボット

アビスト(0570・051・552)の来訪客とやりとりする小型ロボット「受付電話ロボット アビテル」

来訪者を検知すると「こんにちは」と声をかける。音声かタッチパネルで名前や訪問部署を入力すれば、担当部署の内線電話につながる。来訪者の氏名や企業名、顔認証情報、来社履歴なども記録して管理できる。高さ約30cmの据え置き型。

《税別8万2000円、別にクラウド利用料が必要》

新製品



自動散水

市港区、052・型自動散水「ス」

栓に取り付け注意した自動散水で使用。タイ間に自動的にリッシュな外違和感なく調3色から選べ1回でよい。万1800円

